

なよろエコパートナー事業計画書

令和7年12月 1日

市長 様

令和7年度の事業計画について報告いたします。

1 事業者名

(フリガナ)	カブシキガイシャイガラシグミ
企業・団体名	株式会社五十嵐組

2 取り組み目標

事業所内で使用する燃料、電気の使用量を前年比 1 %削減する。

3 取り組み内容

実施する脱炭素社会達成に向けた取り組みについて	※取り組みの分野について、□に「✓」を入れてください。 ☒事業所内で使用する燃料、電気等のエネルギーの使用の削減に関すること。 ☐温室効果ガス排出量の削減目標の公表に関すること。 ☒使用する自動車から排出される温室効果ガス削減に関すること。 ☒社員又は従業員の被服（クールビズ・ウォームビズ）に関すること。 ☐社内の温度上昇抑制（グリーンカーテン等）に関すること。 ☒再生可能エネルギー等の利活用及び導入拡大に関すること。 ☐省エネルギー診断の実施に関すること。 ☒社員又は従業員への環境教育の推進に関すること。 ☐脱炭素技術に関する研究会・勉強会への参画に関すること。 ☐必要な備品等のグリーン購入に関すること。 ☒廃棄物の発生削減に関すること。 ☐資源の再利用に関すること。 ☐森林の保全、再生及び活用に関すること。 ☐その他（ ）
--------------------------------	---

取り組みの内容について	照明更新の際は LED 照明を採用する。 クールビズ・ウォームビズを実施し、暖房設定温度を 21 度、冷房設定温度を 26 度とする。 五十嵐グループとしてエネルギーの地産地消を推進し、以下の取り組みを進める。 五十嵐ホールディングス(株)が保有する太陽光発電設備により、再生可能エネルギー（非化石電力）を活用する。 具体的には、五十嵐ホールディングスで発電した電力を北電へ売却、北電より名寄市で蓄電事業を展開している株式会社エネウィルへ売電。（再生可能エネルギー特定卸供給契約締結済み。）五十嵐組と株式会社エネウィルで電力需給契約を結び、五十嵐ホールディングスで発電した電力を使用する。これにより地域内で循環するエネルギーサイクルを構築し、非化石による電力の自給自足と地産地消を実現する。
--------------------	--